

あとがき

先日、DMAT(災害派遣医療チーム)隊員として、令和6年度大規模地震時医療活動訓練に参加しました。東京都でマグニチュード7.3の地震が発生した想定で、都庁に災害対策本部が設けられ、われわれの施設は医療対策拠点として、日本全国から参集するDMATチームの受け入れと地域医療施設の被災状況からDMAT派遣や東京都へのライン確保の要請を行う訓練を行いました。

私が日本DMAT隊員になってから数年が経過しましたが、災害対策拠点の活動は実地も含めて初めての経験であり、未経験の仕事に四苦八苦しながらも、インストラクターの先生にご指導いただき、有意義な経験をさせていただきました。災害時の仕事はいつもの業務と異なり、難しい局面もありますが、訓練によって備えておくことはできます。臨床検査も同様で、専門外のことに興味を持ち学んでおくことが今後の糧になることも多く、そういった意味でも本誌を役立ててもらえれば幸いです。

本号もさまざまな分野の内容が網羅されています。微生物検査での新しい取り組みを会話形式で綴る新連載や日当直業務における施設取り組みの好例など、専門外の方にもわかりやすく記述されており、全ての原稿を楽しみながら読み進められると思います。尊敬する関根先生のシリーズ「病態生理から読み解く腹部エコー検査」は今回で最終回となり寂しい限りですが、執筆いただいた関根先生には大変感謝いたしております。シリーズ9回全てで「新しい気づき」がある内容でした。本編最後のメッセージは全ての検査技師に伝わる内容だと思います。ありがとうございました。

(八鯨恒芳)

第53巻2号(2025年2月・増大号)予告

極める！呼吸機能検査 患者を診る力が成功のカギ

呼吸機能検査に携わる検査技師には機器の操作や検査の知識に加え、患者心理などを踏まえた患者対応、つまり“患者を診る力”も必要なスキルとして求められます。次号は一部項目の動画の視聴も可能として、“患者を診る力”を学習すること、また、それが『検査技師』の標準化の一助になることを目的として企画しました。

目次

- 1章 上手な患者誘導
- 2章 適切な精度管理とピットフォール
- 3章 スパイログラムと患者状態から読み解く失敗例とその対応(肺活量測定)
- 4章 フローボリューム波形と患者状態から読み解く失敗例とその対応(努力肺活量測定)
- 5章 機能的残気量測定の失敗例とその対応
- 6章 肺拡散能検査の失敗例とその対応
- 7章 ガス洗い出し法(1回呼吸法)の失敗例とその対応

編集室より

「“守は知る、破はできる、離は使える”ということ。」尊敬するI先生が、剣道の技における“守破離”の意味を小学生にわかりやすく教えていました。本誌も、読者の皆さんが“知って、できて、現場で使える”内容を提供してまいります。本年も引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。(S)

編集委員(五十音順)

大西宏明(編集主幹)・佐々木雅一・平石直己・八鯨恒芳・矢富 裕・横田浩充

編集協力委員(五十音順)

大川龍之介・大沼健一郎・岡田光貴・沖野久美子・荻原真二・菊地良介・木下朋幸・木村圭吾・草薙宏有・河野浩善・国分寺晃・清水康平・松田和之・丸川活司・柳田絵美衣・脇田 満

検査と技術

2025年1月1日発行(毎月1日発行)
定価:1,980円(本体1,800円+税10%)

2025 年間購読料(2冊の増大号を含む12冊、税込、送料弊社負担)

冊子版	30,800円	電子版/個人	27,984円
電子+冊子版/個人	36,300円		

発行 株式会社 医学書院	本誌編集室	TEL(03)3817-5713	別刷取扱 販売・PR部	(03)3817-5650
代表者 金原 俊		FAX(03)3815-7802	印刷 (株)アイワード	(011)241-9341
〒113-8719	E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp		広告取扱 (株)文京メディカル	(03)3817-8036
東京都文京区本郷1-28-23	URL www.igaku-shoin.co.jp/journal/543			

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2025. Printed in Japan.

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

「検査と技術」は、株式会社医学書院の登録商標です。

(担当 佐野・松井・田村・溝口・竹谷)